

組合創立50周年を迎えて

愛知名古屋ディスプレイ協同組合

愛知名古屋ディスプレイ協同組合は昭和29年に設立された「名古屋商工美術協会」から発展し、昭和43年に「名古屋ディスプレイ協同組合」としてスタートし、平成4年に現在の「愛知名古屋ディスプレイ協同組合」に改称しました。

50年という長い間、組合がありますのも関係官庁のご指導と関係業界のご支援の賜物と心から感謝申し上げます。

当組合は店舗、博覧会、展示会などの企画、製作、施工管理などに関係する業者の団体で、ディスプレイという言葉をご存知のように定義しています。

1. ディスプレイはある目的を伝達するため、造形、色彩、照明、音響などで構成する体系的な総合専門技術である。



永年勤続優良従業員表彰

2. ディスプレイは、美しく、楽しく、興味深く、教育、啓蒙宣伝する空間構成の技法である。
3. ディスプレイとは、与えられた場所で、人間の持つすべての感覚に訴え得る情報伝達の技法である。
4. 空間に「もの」と「ひと」の対話の場を演出するのがディスプレイである。

高度経済成長と共に発展し、各種博覧会や展示会、最近では愛知万博などの情報発信の基幹として業界の成長に寄与してきました。

しかしながら、一昨年のリーマンショックから急激に景気が落ち込み、昨年の秋に27回続けてまいりました「サイン・ショップ&ディスプレイショウ」を当初計画よりも出展申込みが大幅に減少したため、やむを得ず開催中止としました。

一方で、組合構成員の資質向上と業界の発展の為、デザイン講演会を開催し、定員を上回る多数の方に参加していただきました。その中で組合の将来を担う若い世代の出席者が非常に多く、熱心に講演を聞いている姿に頼もしさを感じることができました。

更なる発展を続ける為に、団体のメリットを最大限に活用し、関連資格の取得の啓発、めまぐるしく変わる法令等の告示、さまざまな制度の紹介、業界の情報の発信基地として組合の魅力をどんどんアピールしていきたいと思っております。また、若手世代を積極的に応援していき、次世代の育成にも力を入れて行きたいと思っております。

ものづくりのまち「愛知」をサポートする業界として、今後も地域振興に尽力してまいります。みなさまのご支援ご協力を宜しく申し上げます。



第50回通常総会での理事長挨拶



組合創立50周年記念祝賀会会場